



十小だより

令和5年10月31日

第6号

府中市立府中第十小学校

いじめはNO！笑顔には笑顔、気遣いには気遣いで！

校長 草刈 あずさ

どんぐり拾いや虫探しなどの学習が行われ、秋の深まりを感じます。過ごしやすい時期でもあり、子どもたちが季節を感じながら、元気いっぱい外遊びをしています。

11月17・18日には、学習発表会があります。これまでは、学芸会と展覧会を交互に行ってきていましたが、国語や社会科、理科、英語、総合的な学習の時間などの学習を、見ている人にも楽しんでもらえるように劇化したり、衣装を工夫したりしながら発表します。運動会の時と同様に、教職員・児童・保護者・地域の方々と一体となって、みんなでいい行事にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、11月は「ふれあい月間」として、いつも以上に人とかかわりなどを見つめ直す期間となっています。子どもたちとかかわったり、様子を見たり聞いたりしている中で、気になることや感心することがあります。大人との関係においては、十小の子どもたちは学年があがるほど、礼儀正しい態度をとることができています。これは、家庭や学校で場をわきまえた節度ある態度を繰り返し指導したり、大人がお手本を示したりしてきている成果と思っております。

子ども同士の関係では、「いじめ」と判断されるかかわりも複数あり、教員が指導や見守りをしているところでは、悪口を言われたり、叩かれたりしてイヤだったので、やり返すことが多くあります。ですから、相手は遊んでいるつもり、じゃれあっているつもり、ケンカしているつもりで、友達がいじめられていると悩んでいることに気付かずにいることもあります。自分を守るために必死で抵抗するのは苦しかったです。心が痛みます。

その一方で、十小の子どもたちは、助け合ったり、笑顔で会話しあったりする姿がたくさん見られます。私も、笑顔で手を振ってくれる子どもに笑顔で手を振り返すことが日常的にあります。夕方、放課後遊びから帰宅する子どもに「気を付けて帰ってね」と声をかけると「校長先生も、気を付けて帰ってください」と言われたり、お祭りで会った子に「お祭り、楽しんでね」と声をかけると「校長先生も楽しんでください」と言われたり、ほのぼのとする言葉を返してくれることもあります。大人でもうれしいものです。

代表委員会でも、いじめ防止の取組を行います。子どもたちが自分たちの問題として捉え、全校に働きかけることは素晴らしいことです。11月のふれあい月間には、笑顔と笑顔、気遣いと気遣い、優しい声かけと優しい声かけといった素敵なやりとりが、大人と子どもの間でも、子ども同士でもたくさんある月になってほしいと思っております。